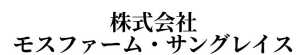


賞金



協賛企業



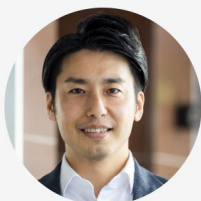
審査員



株式会社Cien
代表取締役社長 鬼石真裕



株式会社マイファーム
代表取締役 西辻 一真



株式会社エル・ティー・エス
執行役員 Consulting事業本部
SHIPスタートアップ相談員
中島 健太



株式会社炭素化支援機構
(JICN)
事業推進第一部 林 初香



浜松磐田信用金庫
ソリューション支援部 部長
久島 廣也



静岡県菊川市役所 建設経済部
産業支援センター長
渡邊 真里

公式WEBサイト



主催：菊川市
運営：株式会社Cien 問い合わせ先：kikugawa_bc@cien-inc.jp



菊川市
KIKUGAWA

菊川チャレンジビジネスコンテスト

最終審査会

2024/12/12

最終審査会プログラム

13:15 | 開会

13:30 | 最終プレゼン Session 1

01 Blue Farm株式会社 茶畑のサステナブル機能を開放する 茶畑のサブスクリプション ChaaS

Blue Farmの「ChaaS」は、企業の飲料を有機茶飲料に置き換えるだけで、茶畑の保全やカーボンクレジット創出などの環境価値を得られる画期的なサービスです。追加予算不要で導入でき、ESG対応やCDP評価向上にも貢献するため、非上場企業を含む幅広い層から支持を集めています。世界一導入が簡単なサステナビリティソリューションを目指しています。

02 M2labo 全自動ニラ生産システム

エムスクエア・ラボは、管理が容易で自動化に適したニラを対象に、全自動生産システムを開発しています。自律走行台車をベースに定植から収穫まで自動化し、2025年までに試作機完成予定。耕作放棄地対策として、地域経済の新しいモデル創出を目指しています。

03 ManaDesign 日本初！？ お茶のオープンファクトリー「きくがわまるごと茶工場フェス」

日本初！？お茶特化型のオープンファクトリー「きくがわまるごと茶工場フェス」は、茶畑から製造・流通まで菊川の茶産業を開放し、お茶づくりを五感で体感できるイベントです。茶業関係者と来場者の交流や対話を通じて、地域産業の活性化や仕事への誇り、市民のシビックプライドを創出。ポジティブな変化の基盤を内側から生み出し「ハッピーな茶産地・菊川」を実現する企画を提案します！

04 Omiisay株式会社 「海外進出を手軽に気軽に」日本企業向け海外進出インフラ

海外進出の三大課題（資金・人材・チャネル）を解決する新しいインフラサービス。従来の複雑な手続きを簡素化し、現地法人不要で進出期間を6ヶ月に短縮。初期費用を大幅に抑制し、現地雇用からバックオフィスまで一括提供することで、海外進出をより身近な選択肢にします。フルサポート体制で、日本企業の海外展開の可能性を広げます。

05 Sun&R.Lab合同会社 Japanese Craft Tea ノンアルコール市場への挑戦

従来の日本茶に新たな価値を吹き込む最高級茶葉を使用したノンアルコール飲料を開発。ワインのようなペアリングでの提供やハレの日のウェルカムドリンクとして高級店を中心に新市場を開拓。テクノロジーの活用や文化の創造（茶園のドメーナ化）を通じて産業全体の構造改革を目指しています。

14:30 | 休憩

14:40 | 最終プレゼン Session 2

06 UTea 深蒸し菊川茶を、インドネシアへ

菊川の深蒸し茶をインドネシアへ。UTeaは、インドネシア現地でのネットワークと日本の伝統をつなぎ、ECサイトを通じて富裕層に高品質な日本茶を届けます。水出しが可能な深蒸し茶の特性を活かし、年間を通じた需要を創出。Jepangブランドの信頼性と合わせ、2.8億人の新市場を開拓します。

07 ソフトブレン工業株式会社 FISLAND TEA ESTATE and TENNIS RESORT

菊川の茶畑を舞台に、日本茶栽培とラグジュアリーリゾートを融合。テニスコート付き貸別荘を核に、伝統的な茶業と現代的なレジャーを組み合わせた新しい観光農園モデルを展開。既存の製造業ノウハウと家具事業とのシナジーを活かし、2028年の事業開始を目指します。

08 株式会社andMATCHA 抹茶とソーラーシェアリング

お茶への愛を原点に、世界で需要が高まるオーガニック抹茶の生産・輸出を展開。カザフスタンの「MATCHA BLISS」など海外カフェとの取引を軸に、耕作放棄地を活用した茶畑でソーラーシェアリングも実施。環境と品質にこだわった日本発の抹茶ブランドを目指します。

09 株式会社あらまほし 海外展開を見据えた茶畑カーボンクレジット創出・販路開拓事業

茶畑を活用した高単価なカーボンクレジットを創出・販売する事業です。J-クレジット制度を活用して実績を作り、将来的に茶園の炭素貯留効果による新規クレジットの創出に取り組みます。広域集約・高付加価値化によって、茶農家の収益確保と気候変動対策を両立し、茶畑のある風景の保全をめざします。

10 茶の実 Beau-tea Town お茶と美容の街 菊川

茶産地・菊川の未利用資源を活用し、お茶の実オイルの製造・販売とエステサービスを展開。茶農家との連携で耕作放棄地を活用し、空き家をエステサロンに転用。インバウンド向け体験型サービスで観光需要も創出。地域資源を活かした美容事業を通じて、年商3,000万円を目指します。

15:40 | 審査／交流会

16:10 | 結果発表・表彰式

16:30 | 閉会